

高知県鏡川から得られたアミメカワヨウジ

岡村恭平^{1,2}

¹ 高知県林業振興・環境部

² 高知大学理工学部海洋生物学研究室



写真1 *Hippichthys heptagonus* アミメカワヨウジ (BSKU 132458)

種の記録

Syngnathidae ヨウジウオ科

Hippichthys heptagonus Bleeker, 1849

アミメカワヨウジ(写真1)

標本 高知大学理工学部海洋生物学研究室魚類標本(BSKU)132458. 標準体長 84.0mm. 採集年月日: 2017年8月15日. 採集場所: 高知市唐人町 鏡川 天神大橋下流左岸. 採集方法: タモ網.

種の特徴

本標本は躯幹部の中央隆起線後部が腹側へ向かう、背鰭起部が尾部にある、躯幹部に白色横帯がないなどの特徴が、瀬能(2013)が示したアミメカワヨウジの標徴に一致したため、本種に同定された。

備考

本種は本邦では琉球列島に分布するほか、高知県の新堀川と新川から北限として記録され、その後神奈川県、静岡県、宮崎県からも報告された(長野ほか, 2006; 石川ほか, 2009; 瀬能, 2013; 栗原ほか, 2021)。したがって、本報は高知県における3例目の記録となる。本標本は鏡川感潮域のコアマモ群落において採集され、採集時の塩分は表層で5‰であった。石川ほか(2009)では、本県における上記2例の記録を基に本種の出現が無効分散ではない可能性があると考えたが、その後本県からの追加標本は本報以外に得られていない。

謝辞

本報投稿に際しご助力いただいた、高知大学理工学部海洋生物学研究室内の遠藤広光先生と関係各位に対し、この場をお借りして御礼申し上げます。

引用文献

- 石川晃寛・伊藤露子・阿部芳勝・町田吉彦. 2009. アミメカワヨウジの北限の産地である高知市からの2個体目の標本(トゲウオ目ヨウジウオ科). 四国自然史科学研究, (5): 8–10.
- 栗原 巧・緒方悠輝也・村瀬敦宣. 2021. 宮崎県延岡市から得られた標本に基づく九州沿岸初記録のアミメカワヨウジ. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 14: 17–20.
- 長野博光・阪本匡祥・中尾光利・町田吉彦. 2006. 高知県初記録種を含む高知市新堀川の魚類. 四国自然史科学研究, (3): 50–56.
- 瀬能 宏. 2013. ヨウジウオ科. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 615–635, 1909–1913.

(2025年10月29日受付, 2025年11月5日公開)

連絡先: 岡村恭平(e-mail: nnaji.tosa@outlook.jp)

(Kyohei Okamura. 2025. Record of *Hippichthys heptagonus* (Syngnathidae) from Kagami River, Kochi Prefecture. NS Fieldnote, 25027)